

自分らしく人生を全うするために
～人生の最終段階の医療・介護の決定のあり方を考える～
第4回 神経難病の方の場合を中心に

自分らしく生きたい。

人生の最終段階を迎えて、納得して、医療・介護を受け、自分らしく人生を全うしたい。

神経難病の場合において、どのようにして、この願いをかなえることができるでしょうか。

自分らしい医療・介護のあり方は、どのように決定することができるでしょうか。

さまざまな立場のパネリストと共に議論を進めます。

日時 2024年 4月 6日(土) 13:00~16:30

※本シンポジウムは、ZOOMを利用したウェビナー形式で開催いたします。

登壇者

荻野美恵子 氏 (医師、国際医療福祉大学医学部教授、同大市川病院神経難病センター長)

川口有美子 氏 (NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会副理事長)

前村 聰 氏 (日本経済新聞社会保障エディター)

青木 志帆 氏 (弁護士、社会福祉士)

【お申し込み方法】※定員500名・参加費無料

参加を御希望の場合は、【4月2日(火)】までに以下のURL又は二次元コードからお申し込みください。



<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/sim4shinnan/0406sympo/>

※ご提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本シンポジウムの事務のために利用します。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会又は日本弁護士連合会が委託した第三者から、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍のご案内その他当連合会が有益であると判断する情報をご案内させていただくことがあるほか、個人情報は統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。

お問い合わせ先

日本弁護士連合会 人権部人権第一課 TEL 03-3580-9502